

国保充実など 県社保協要請

福井県に

福井県社会保障推進協議会は9日、国民健康保険制度の充実と子ども医療費の病院窓口無料化を求めて県に要望書を提出しました。佐々木紀明・県民医連事務局長ら5人が応対した山内和芳健康福祉部長らと懇談しました。日本共産党の、さとう正雄県議が同席しました。

佐々木氏は、都道府県単位の運営に移行が検討されている市町村国保について、「市町ではこれまで以上に収納を強化し、滞納に対するペナルティーとしての保険証取り上げが強化される」と指

摘。かかった医療費を市町に給付する仕組みとなれば、医療費の給付減か、国保税引き上げになりかねないと懸念を示しました。

山内部長は、国保財政の安定のため、「財政支援などを全国知事会から国に要請していきたい」と応えまし

た。佐々木氏は、36都府県で実施されている、子どもの医療費窓口無料化については、「子どもが急に体調を崩したときに手元にお金がなくても安心して病院にかかることができる」として要求。山内部長は「国には制度の改善を求めていく」「市町の要望を十分に聞いて検討したい」と答えました。